

夏秋ギクの気候変動に適応した露地・施設電照栽培法の確立

1 目的

温暖化の影響により、キク類の8月や9月の需要期への計画出荷が困難になっていることから、各地域別の電照栽培条件を明らかにするとともに、適応品種の検討を行う。

2 研究計画・試験方法等

1) 赤色LEDを用いた各地域の露地電照栽培法の検討

- a 現地ほ場(3か所)及び所内において、電照栽培に適し、高温耐性を有する品種について、8月盆出荷作型や9月彼岸出荷作型での栽培を行い、各試験地での品種適応性及び需要期出荷に向けた栽培条件を検討する。
- b 適品種の選抜
小ギク、スプレーギク及び輪ギクにおいて、電照栽培に適し高温耐性を有する品種の選抜を行う。
- c 高温障害発生条件解明と高温対策の検討
小ギク、スプレーギク及び輪ギクの施設電照栽培において、電照消灯後の生育ステージ別に高温処理を行い、到花日数や切り花品質を明らかにして、細霧冷房による高温障害回避の効果を明らかにする。

●露地栽培での電照栽培

⇒気温や日照などの影響を受けにくくすることが可能



- 耐候性電球形赤色LEDランプ ⇒
- 効果的な波長（赤色）の光のみ出す
- 消費電力小 •長寿命
- 防水・防塵性高 などのメリット

●適した品種を使用（選抜品種の例）



県内地域別の栽培条件等を明らかにし
地域別の栽培マニュアル作成



安定的な計画生産を実現

